

## 【特別調査】

(平成28年度第4四半期)

# 人材不足に関する調査

1. 調査目的：当所会員事業所の人材採用・人件費について調査し、今後の意見活動等に反映すること。
2. 調査期間：平成29年3月8日～平成29年3月22日（15日間）
3. 調査方法：（1）市内に本店を置き、FAX番号登録のある当所会員事業所  
（2）平成28年度第4四半期景気動向調査とあわせて調査

(回答率)

調査事業所数	回答事業所数	回答率
5,150	1,133	22.0%

(回答事業所の業種別構成比)

	構成比	事業所数
全 体	100.0%	1,133
建設業	17.9%	203
製造業	20.8%	236
卸売業	10.8%	122
小売業	13.6%	154
サービス業	19.5%	221
その他	17.4%	197
情報通信業	1.0%	11
運輸業	4.4%	50
金融・保険業	1.6%	18
不動産業	3.8%	43
飲食・宿泊業	3.6%	41
医療・福祉	2.2%	25
教育・学習支援業	0.8%	9

(回答事業所の規模別構成比)

	構成比	事業所数
全 体	100.0%	1,133
小規模	58.7%	665
中規模	36.4%	412
大規模	4.9%	56

【小規模】

情報通信業、卸売業、小売業、飲食・宿泊業、医療・福祉、教育・学習支援業、サービス業では「1～5人」、それらを除く業種では「6～20人」以下の区分。

【中規模】

上記【小規模】を除き、小売業、飲食・宿泊業では、「21～50人」以下、情報通信業、卸売業、医療・福祉、教育・学習支援業、サービス業では「51～100人」以下、それらを除く業種では「101～300人」以下の区分。

【大規模】

上記【小規模】【中規模】を除く区分。

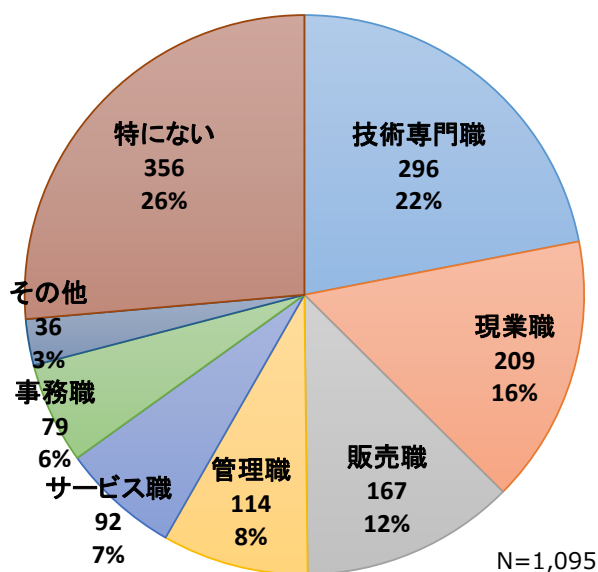
問1. 現在、不足していると感じる職種があれば、該当する番号を○で囲んでください。(複数選択可)

【不足している職種】

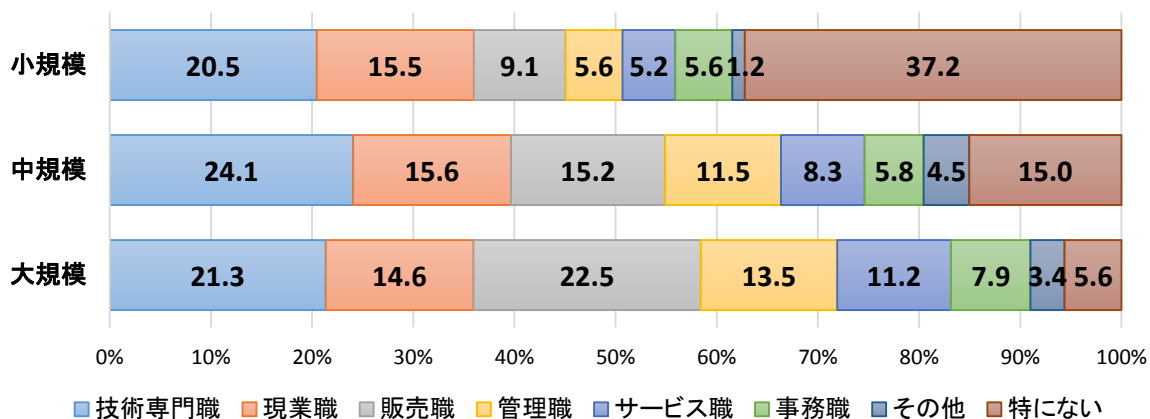
○全体では、7割以上の事業所で何らかの職種に不足を感じている。

○規模別では、規模が小さいほど「特にない」の回答割合が高い傾向にある。

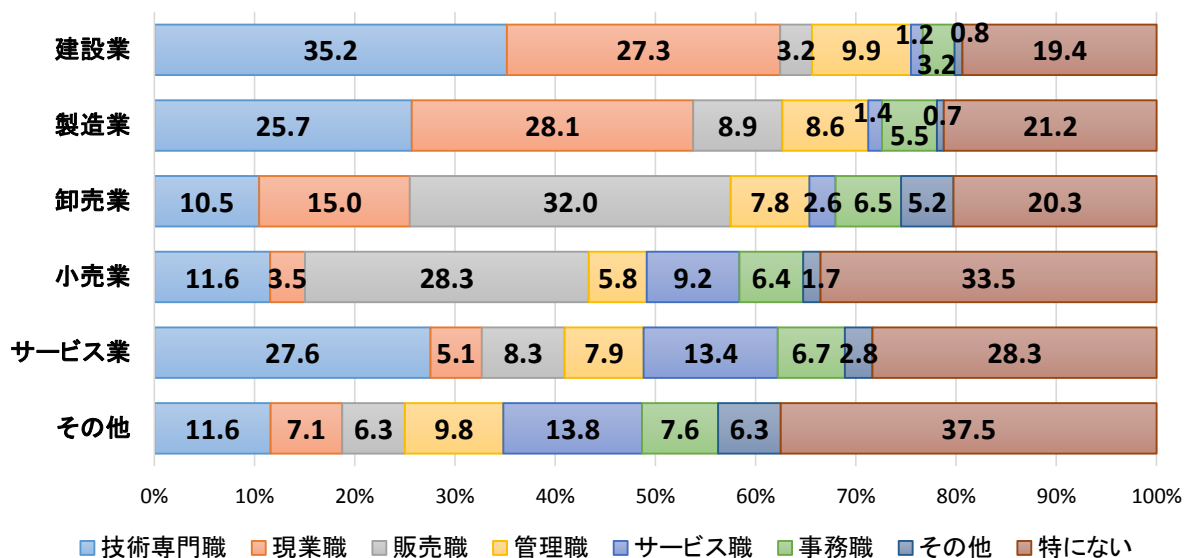
○業種別では、建設業・製造業で「現業職」と「技術専門職」の不足感が高い。また、卸売業・小売業で「販売職」の不足割合が高く、業種ごとの特徴があらわれている。



規模別



業種別



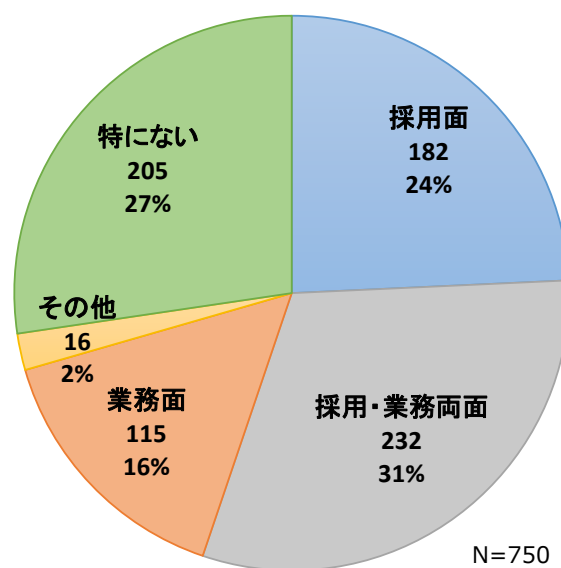
問2-1. 人材不足を緩和するために取組中、または取組予定の対策について、該当する番号を○で囲んで下さい。(複数選択可)

【取組中の対策】

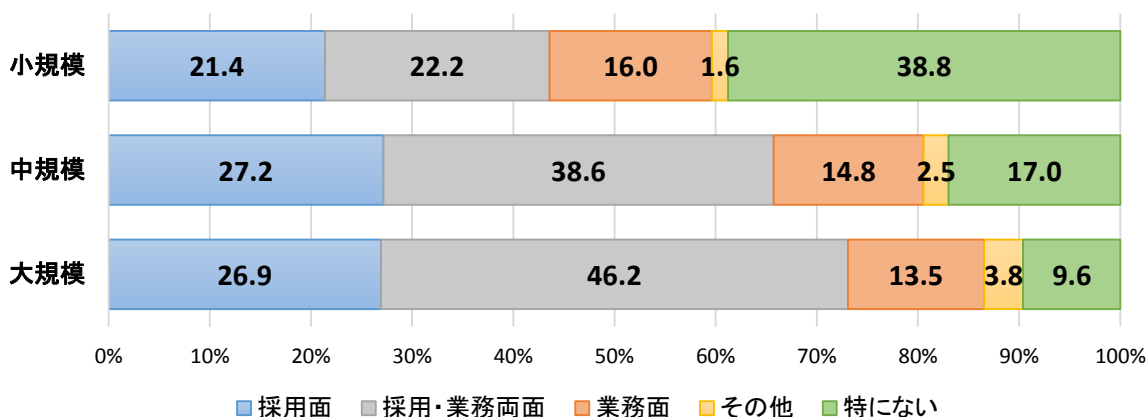
○規模別では、中規模と大規模の8割以上の事業所で人材不足を緩和する対策に取組中か取組予定だが、小規模では4割弱で対策がとられていない。

○規模別・業種別ともに、「採用・業務両面」の回答割合が高い。

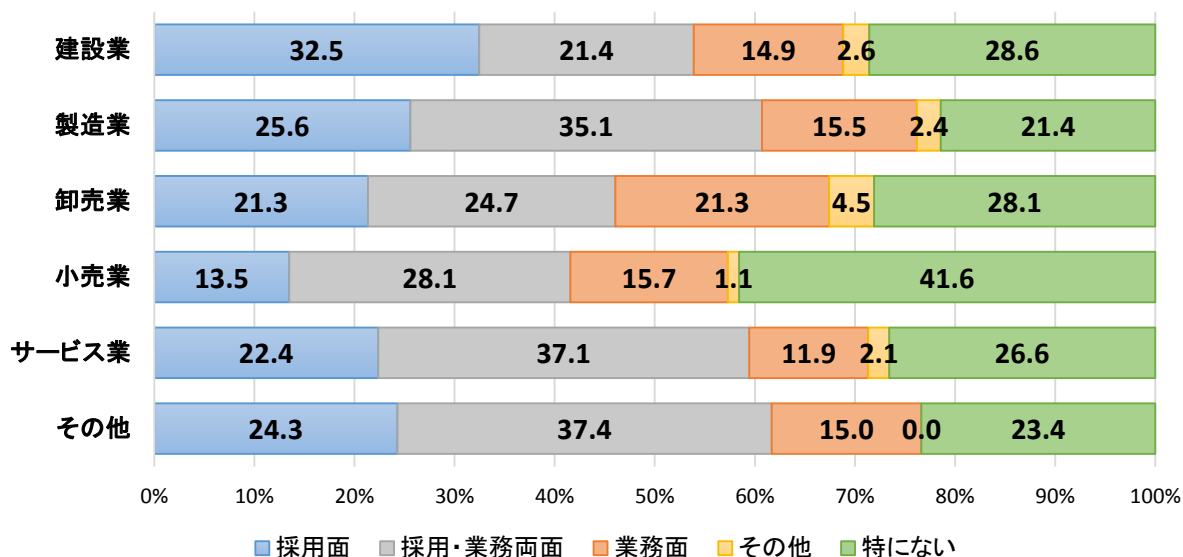
○小売業では、「特にない」の回答割合4割超と、他業種に比較して高い。



規模別



業種別



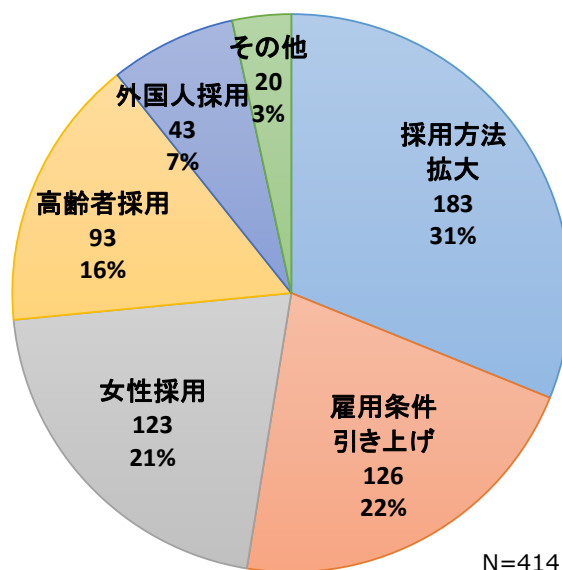
問2-2. 採用面での取組中、または取組予定の対策について、該当する番号を○で囲んでください。(複数選択可)

【採用面での取組】

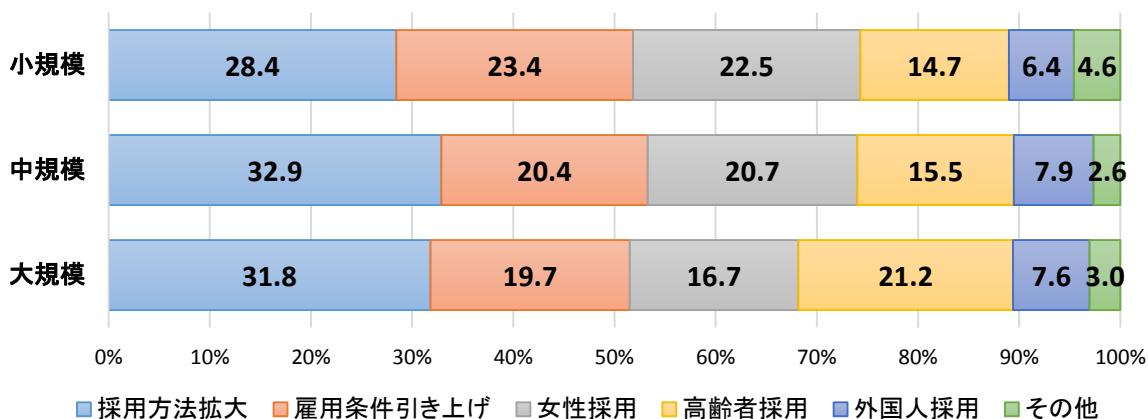
○全体では、「採用手法拡大」の回答割合が高い。

○規模別では、小規模と中規模で「女性採用推進」が「高齢者採用推進」の回答割合を上回っているが、大規模では逆の傾向となっている。

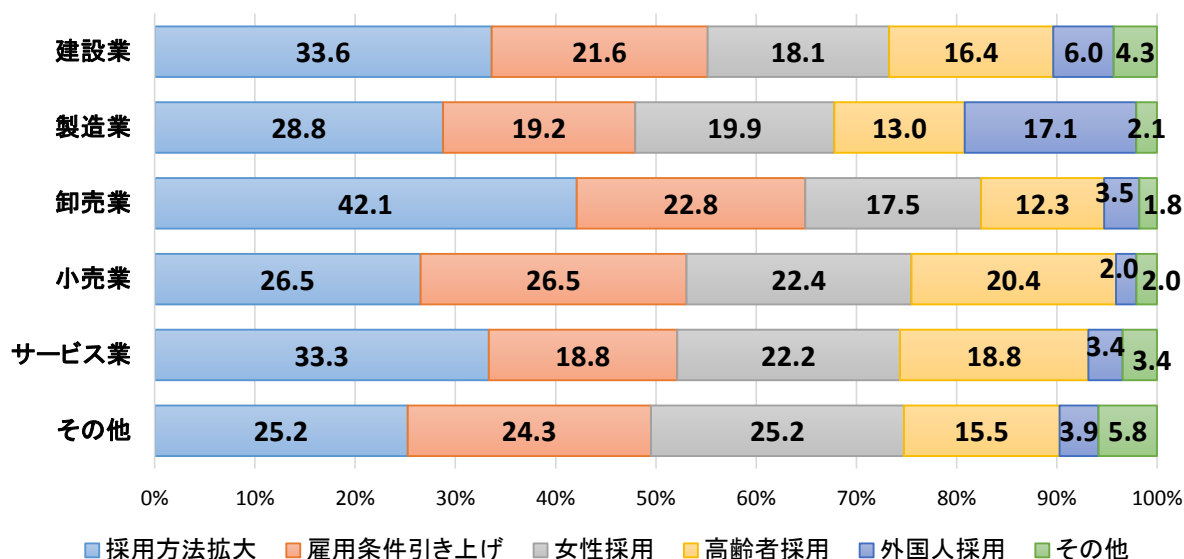
○業種別では、製造業において「外国人採用推進」の回答割合が他業種に比較して高い。



規模別



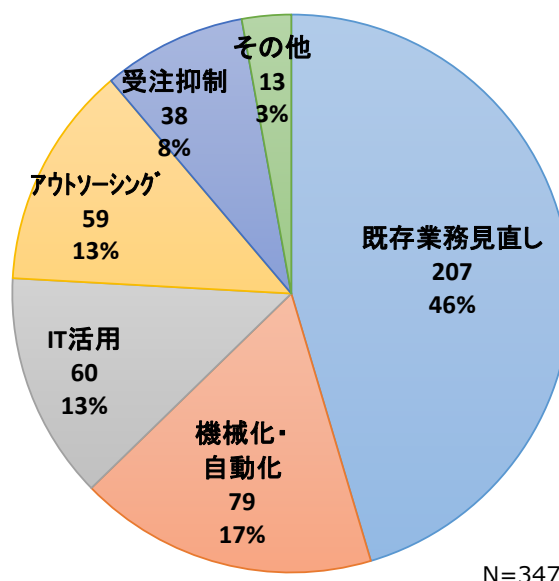
業種別



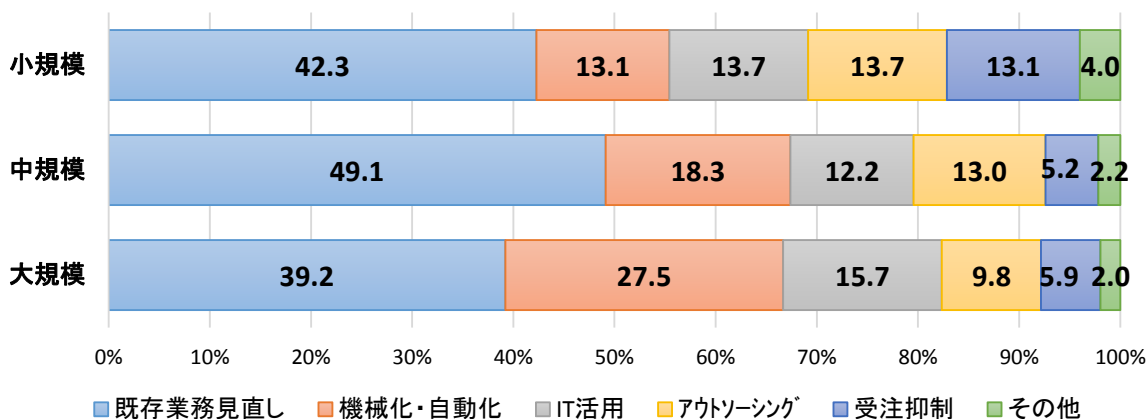
問2-3. 業務面で取組中、または取組予定の対策について、該当する番号を○で囲んでください。(複数選択可)

【業務面での取組】

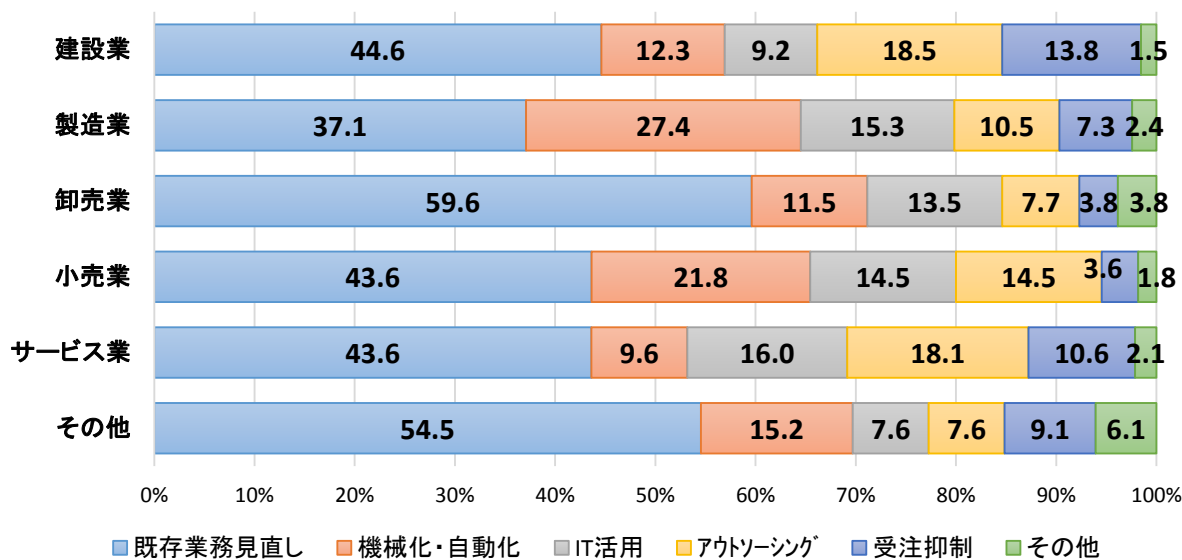
- 全体では、「既存業務見直し」の回答割合が5割近くとなった。
- 規模別では、規模が大きいほど「機械化・自動化」の回答割合が高い。
- 小規模では、中規模・大規模に比べて「受注抑制」の回答割合が高い。
- 業種別では、建設業で「受注抑制」の回答割合が高い。



規模別



業種別



【 問い合わせ先 】

姫路商工会議所

〒670-8505 姫路市下寺町43番地

TEL : 079-223-6555 (直通)

FAX : 079-288-0047

URL : <http://www.himeji-cci.or.jp/>